

科 目		Androidプログラミング I (前期)					
担当教員	沢田一樹	学年	2	履修期間	前期	単位	1
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業					
		単位時間	34				
1. 概要							
目的	スマートフォンの仕組みの理解とAndroidアプリ制作方法の習得						
2. 講義計画							
第 1 週	スマートフォンの特徴とAndroidアプリ開発手法の説明						
第 2 週	Androidアプリ開発環境をPCに構築する						
第 3 週	アプリを作成してAndroidスマートフォンへインストールする						
第 4 週	ActivityとViewについて						
第 5 週	TextView課題						
第 6 週	ImageView課題						
第 7 週	Button課題						
第 8 週	アラートダイアログ課題						
第 9 週	タイマー課題1						
第 10 週	タイマー課題2						
第 11 週	Intent課題						
第 12 週	ListView、GridView課題						
第 13 週	アニメーション課題						
第 14 週	画面レイアウト課題						
第 15 週	○×ゲームアプリ制作1						
第 16 週	○×ゲームアプリ制作2						
第 17 週	○×ゲームアプリ制作3						
第 18 週	○×ゲームアプリ制作4						
3. 関連科目及び注意点							
情報処理講座・アルゴリズムを並行して授業していること。							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：やさしいC（第4版、ソフトバンククリエイティブ）						
問題集	：C言語プログラミング能力認定試験3級問題集（サーティファイ）						
6. 注意事項							
パソコンを使つての実習である。							

科 目		AndroidプログラミングⅡ（後期）					
担当教員	沢田一樹	学年	2	履修期間	後期	単位	2
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業					
		単位時間	68				
1. 概要							
目的	卒業発表に向けたAndroidアプリケーションのチーム制作						
2. 講義計画							
第 1 週	アイデア出し						
第 2 週	画面構成決定						
第 3 週	制作スケジュール、チーム・担当分け						
第 4 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 5 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 6 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 7 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 8 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 9 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 10 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 11 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 12 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 13 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 14 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 15 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 16 週	発表資料・動作制作						
第 17 週	発表資料・動作制作						
第 18 週	発表資料・動作制作						
3. 関連科目及び注意点							
情報処理講座・アルゴリズムを並行して授業していること。							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：やさしいC（第4版、ソフトバンククリエイティブ）						
問題集	：C言語プログラミング能力認定試験3級問題集（サーティファイ）						
6. 注意事項							
パソコンを使つての実習である。							

科 目		簿記 I (前期)					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	2
学科	情報システム科	コース					
		単位時間	68				
1. 概要							
目的	<p>会計システムを構築するには、簿記の知識が必要となる。また、昨今の事務職では、コンピュータやネットワークの知識を求められることが多い。 本講座では日商簿記3級程度の基礎的な知識を得ることを目的とする。</p>						
2. 講義計画							
第 1 週	簿記の基本 商品を買って(売った)時の仕訳(分記法)						
第 2 週	商品を仕入れた(売り上げた)時の仕訳(三分法)						
第 3 週	掛けで仕入れた時の仕訳 掛けで売り上げたときの仕訳						
第 4 週	クレジット払いで商品を売り上げたときの仕訳 商品の返品があったときの仕訳						
第 5 週	仕入諸掛り(当社負担) 売上諸掛り(当社負担)の仕訳						
第 6 週	他人振出小切手を受け取った時の仕訳 現金過不足						
第 7 週	普通預金 当座預金 小切手 当座借越						
第 8 週	小口現金						
第 9 週	手形と電子記録債権						
第 10 週	貸付金・借入金、手形貸付金・手形借入金						
第 11 週	その他の債権債務 1 前払金 未収金						
第 12 週	その他の債権債務 2 前受金 仮払金・仮受金						
第 13 週	その他の債権債務 3 立替金 所得税預り金 受取商品券						
第 14 週	その他の費用 消耗品費 租税公課						
第 15 週	貸倒と貸倒引当金						
第 16 週	有形固定資産と減価償却						
第 17 週	前期定期試験 1						
第 18 週	前期定期試験 2						
3. 関連科目及び注意点							
電卓またはそろばんが必要です。							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験(筆記試験)により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	: スッキリわかる日商簿記3級 第10版						
問題集	:						
6. 注意事項							

科 目		簿記Ⅱ（後期）					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	2
学科	情報システム科	コース					
		単位時間	68				
1. 概要							
目的	前期の簿記1で仕訳を学習し、後期の簿記2では帳簿への記帳の仕方を学ぶ。日商簿記3級程度の記帳ができるように学習する。						
2. 講義計画							
第1週	株式の発行、剰余金の配当と処分						
第2週	法人税等と消費税						
第3週	費用・収益の前払い・前受と未払い・未収、訂正仕訳						
第4週	仕訳帳と総勘定元帳						
第5週	現金出納帳と当座預金出納帳						
第6週	小口現金出納帳						
第7週	仕入帳と買掛金元帳への記入						
第8週	商品有高帳への記入						
第9週	受取手形記入帳と支払手形記入帳						
第10週	帳簿のまとめ						
第11週	試算表						
第12週	伝票と仕訳日計表、証ししょう						
第13週	精算表と財務諸表1						
第14週	精算表と財務諸表2						
第15週	精算表と財務諸表3						
第16週	帳簿の締め切り						
第17週	後期定期試験1						
第18週	後期定期試験2						
3. 関連科目及び注意点							
電卓またはそろばんが必要です。							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（筆記試験）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	： スッキリわかる日商簿記3級 第10版						
問題集	：						
6. 注意事項							

科 目		VBA実習 I (前期)					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	2
学科	情報システム科						
		単位時間	68				
1. 概要							
目的	Excel/VBAを学習する。マクロを組むことにより、誰でも簡単に使うことのできる表を作成できるだけの技術を学ぶ。						
2. 講義計画							
第 1 週	マクロとVBAの関係を理解する VBAのメリット						
第 2 週	VBAのプログラムの全体像 VBE						
第 3 週	標準モジュール Subプロシージャ マクロ有効ブックの保存						
第 4 週	オブジェクト プロパティ メソッド						
第 5 週	条件に応じた処理 1 IF文 比較演算子						
第 6 週	条件に応じた処理 2 IF~ELSE文						
第 7 週	条件に応じた処理 3 IF~ELSE文						
第 8 週	同じ処理を繰り返す 1 変数						
第 9 週	同じ処理を繰り返す 2 For Next文						
第 10 週	同じ処理を繰り返す 3 For Next文 文字列結合演算子						
第 11 週	同じ処理を繰り返す 4 For Next文 メソッド						
第 12 週	VBA関数 NOW関数						
第 13 週	プログラムの改善 1						
第 14 週	プログラムの改善 2						
第 15 週	計算ドリルを作る 1						
第 16 週	計算ドリルを作る 2						
第 17 週	前期定期試験 1						
第 18 週	前期定期試験 2						
3. 関連科目及び注意点							
パソコン基礎実習							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	: 入門者のExcel VBA 初めての人に最適な学び方（ブルーボックス）						
問題集	:						
6. 注意事項							
パソコンを使つての実習である。							

科 目	VBA実習Ⅱ（後期）						
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	2
学科	情報システム科						
		単位時間	68				
1. 概要							
目的	Excel/VBAを学習する。マクロを組むことにより、誰でも簡単に使うことのできる表を作成できるだけの技術を学ぶ。						
2. 講義計画							
第 1 週	マクロとVBAの関係を理解する VBAのメリット						
第 2 週	VBAのプログラムの全体像 VBE						
第 3 週	標準モジュール Sub プロシージャ マクロ有効ブックの保存						
第 4 週	オブジェクト プロパティ メソッド						
第 5 週	条件に応じた処理 1 IF文 比較演算子						
第 6 週	条件に応じた処理 2 IF～ELSE文						
第 7 週	条件に応じた処理 3 IF～ELSE文						
第 8 週	同じ処理を繰り返す 1 変数						
第 9 週	同じ処理を繰り返す 2 For Next文						
第 10 週	同じ処理を繰り返す 3 For Next文 文字列結合演算子						
第 11 週	同じ処理を繰り返す 4 For Next文 メソッド						
第 12 週	VBA関数 NOW関数						
第 13 週	プログラムの改善 1						
第 14 週	プログラムの改善 2						
第 15 週	計算ドリルを作る 1						
第 16 週	計算ドリルを作る 2						
第 17 週	前期定期試験 1						
第 18 週	前期定期試験 2						
3. 関連科目及び注意点							
パソコン基礎実習							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：入門者のExcel VBA 初めての人に最適な学び方（ブルーボックス）						
問題集	：						
6. 注意事項							
パソコンを使つての実習である。							

科 目		情報処理講座Ⅲ（前期）					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	1
学科	情報システム科	コース					
		単位時間	34				
1. 概要							
目的	アルゴリズムの基本を学ぶ。探索アルゴリズム、整列アルゴリズム、応用アルゴリズムを学習する。疑似言語およびJava言語を使って、問題を解いたりソースコードを入力して確認をする。						
2. 講義計画							
第 1 週	疑似言語とは						
第 2 週	疑似言語パターン学習						
第 3 週	疑似言語パターン演習 順次処理・選択処理						
第 4 週	疑似言語パターン演習 繰り返し処理						
第 5 週	基本例題 最大公約数の算出						
第 6 週	基本例題 文字のカウント						
第 7 週	基本例題 線形探索						
第 8 週	基本例題 二分探索						
第 9 週	基本例題 バブルソート						
第 10 週	基本例題 挿入ソート						
第 11 週	基本例題 文字列の称号						
第 12 週	基本例題 リストの作成						
第 13 週	基本例題 二進整数の乗算						
第 14 週	Javaで最大公約数を求める						
第 15 週	Javaで文字をカウントする						
第 16 週	Javaで文字を探索する						
第 17 週	Javaで並べ替えをする						
第 18 週	総合学習						
3. 関連科目及び注意点							
情報処理講座Ⅰ、Ⅱ、Java基礎							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（筆記試験）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：本情報技術者 大滝みや子先生のかんたんアルゴリズム解法 ～流れ図と疑似言語～						
問題集	：						
6. 注意事項							

科 目		HTML&CSS (前期)					
担当教員	加藤 雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	2
学科	情報システム科						
		単位時間	68				
1. 概要							
目的	HTMLおよびWebページのデザインを中心に学ぶ。ユーザーが使いやすい、見やすい、Webページを作る技術を取得し、自社のWebページを作成できるようにする。						
2. 講義計画							
第 1 週	Webサイト制作の事前準備 1	Webサイトの仕組み					
第 2 週	Webサイト制作の事前準備 2	制作環境の準備					
第 3 週	HTMLの基本 1	HTMLとは					
第 4 週	HTMLの基本 2	見出し段落・改行					
第 5 週	HTMLの基本 4	リンクの画像の表示・ディレクトリ					
第 6 週	HTMLの基本 5	コメント文の役割と書き方、HTMLの基本構造					
第 7 週	HTMLの基本 6	文字コード					
第 8 週	CSSの基本 1	CSSの書き方					
第 9 週	CSSの基本 2	CSSの参照方法と書式					
第 10 週	CSSの基本 3	セレクタの種類					
第 11 週	CSSの基本 4	さまざまなCSSスタイル					
第 12 週	CSSの基本 5	CSS3の活用					
第 13 週	webサイトの作成 1	作成するWebサイトとレイアウト					
第 14 週	webサイトの作成 2	Webサイト制作の前準備					
第 15 週	webサイトの作成 3	ヘッダー部分の作成、コンテンツ部分の作成					
第 16 週	webサイトの作成 4	フッターの作成					
第 17 週	前期定期試験 1						
第 18 週	前期定期試験 2						
3. 関連科目及び注意点							
Webプログラム開発基礎 I・II							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	: 本当によくわかるHTML&CSSの教科書（本当によくわかる教科書）						
問題集	:						
6. 注意事項							
パソコンを使つての実習である。							

科 目		JavaScript (後期)					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	後期	単位	2
学科	情報システム科						
		単位時間	68				
1. 概要		目的	JavaScriptはWeb開発で活躍するプログラミング言語である。Webシステムを開発するためには必須であり、この技術を取得することでIT技術者として活躍できるようになることを目的とする。				
2. 講義計画		第 1 週	Webの仕組みとJavaScriptの役割 ネットワークとプロトコル HTTP				
	第 2 週	サーバーサイドプログラミングとクライアントサイトプログラミング 1					
	第 3 週	サーバーサイドプログラミングとクライアントサイトプログラミング 2					
	第 4 週	JavaScriptプログラム 開発環境、文字コード Hello World!の表示					
	第 5 週	基本的なJavaScriptの書き方					
	第 6 週	ブラウザ所属のデベロッパーツール、エラーの確認					
	第 7 週	scriptタグの位置、コードを外部ファイルへ保存する					
	第 8 週	変数とデータ型 リテラル 変数とデータ型					
	第 9 週	演算子 算術演算 足し算・四則演算・余り・累乗					
	第 10 週	文字列結合と演算子の優先順位 文字列の結合 演算子の優位					
	第 11 週	さまざまな演算子 複合代入演算子 インクリメントとデクリメント 演算子まとめ					
	第 12 週	条件分岐 ifとelse					
	第 13 週	boolean型変数と比較演算子					
	第 14 週	if条件分岐の完成形					
	第 15 週	条件分岐の応用					
	第 16 週	swich文					
	第 17 週	試験準備					
	第 18 週	前期試験					
3. 関連科目及び注意点		Webデザイン I・II、Java言語基礎					
4. 成績評価の方法		課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価					
5. 教科書及び参考書など		教科書	: 本当によくわかるHTML&CSSの教科書（本当によくわかる教科書）				
	問題集	:					
6. 注意事項		パソコンを使つての実習である。					

科 目		デッサンⅢ（前期）					
担当教員	清水良洋	学年	2	履修期間	前期	単位	2
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業					
		単位時間	68				
1. 概要							
目的	デッサンⅠに引き続き、観察能力を高めるとともに、創造性を高めてそれを表現することを目的とする。						
2. 講義計画							
第 1 週	俯瞰パース 1						
第 2 週	俯瞰パース 2						
第 3 週	仕上げ						
第 4 週	静物デッサン 1						
第 5 週	静物デッサン 2						
第 6 週	簡略外観パース 1						
第 7 週	簡略外観パース 2						
第 8 週	簡略外観パース 3						
第 9 週	鳥瞰パース 1						
第 10 週	鳥瞰パース 2						
第 11 週	鳥瞰パース 3						
第 12 週	静物 1						
第 13 週	静物 2						
第 14 週	静物 3						
第 15 週	試験準備 1						
第 16 週	試験準備 2						
第 17 週	前期試験 1						
第 18 週	前期試験 2						
3. 関連科目及び注意点							
デッサンⅠ・Ⅱ							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（実技試験）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：やさしいC（第4版、ソフトバンククリエイティブ）						
問題集	：C言語プログラミング能力認定試験3級問題集（サーティファイ）						
6. 注意事項							
パソコンを使つての実習である。							

科 目	デジタルサウンド基礎実習Ⅲ（前期）				
担当教員	宮崎亮	学年	1	履修期間	後期
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要	目的	コンピュータを使って作曲を行う。 簡単な音楽を作り、システムの素材として活用できる技術を学ぶ。			
2. 講義計画	第 1 週	G線 書き譜			
	第 2 週	G線 書き譜 メロディ入力（バッハについて）			
	第 3 週	パワーポップ			
	第 4 週	デジタルアルペ			
	第 5 週	テンションコード			
	第 6 週	Powerpop			
	第 7 週	Yesterdayサビ オーケストラ			
	第 8 週	Yesterdayサビ オーケストラ 自分で和音設定			
	第 9 週	アルペジオで作曲 指定のコード進行で行う			
	第 10 週	アルペジオ			
	第 11 週	デジタルアルペ			
	第 12 週	デジタルアルペ			
	第 13 週	デジタルアルペ テンションコード			
	第 14 週	テクノ4つ打			
	第 15 週	試験準備 1			
	第 16 週	試験準備 2			
	第 17 週	前期試験 1			
	第 18 週	前期試験 2			
3. 関連科目及び注意点	デジタルサウンド基礎実習Ⅰ				
4. 成績評価の方法	日常点および定期試験（実技試験）および課題点により評価				
5. 教科書及び参考書など	教科書	: プリントにて対応			
	参考書	:			
6. 注意事項	パソコンを使つての実習である。				

科目	デジタルサウンド基礎実習Ⅳ（後期）				
担当教員	宮崎亮	学年	1	履修期間	後期
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要					
目的	コンピュータを使って作曲を行う。 簡単な音楽を作り、システムの素材として活用できる技術を学ぶ。				
2. 講義計画					
第 1 週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d	1			
第 2 週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d	2			
第 3 週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	1			
第 4 週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	2			
第 5 週	テクノ 4 打 Dr & Bs				
第 6 週	テクノ 4 打 サビのみオリジナル採点				
第 7 週	テクノ 4 打 サビのみオリジナル採点				
第 8 週	メロディ入れ				
第 9 週	メロディ入れ				
第 10 週	R&Rへ 8Beat Bs line入力				
第 11 週	XmasSong				
第 12 週	XmasSong				
第 13 週	XmasSong				
第 14 週	XmasSong				
第 15 週	試験準備 1				
第 16 週	試験準備 2				
第 17 週	後期試験 1				
第 18 週	後期試験 2				
3. 関連科目及び注意点					
デジタルサウンド基礎実習Ⅰ					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）および課題点により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					
パソコンを使っての実習である。					

科 目		データベース実習（後期）					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	後期	単位	2
学科	情報システム科	コース					
		単位時間	68				
1. 概要							
目的	Accessの基本的な使い方からAccessVBAの基本までを学ぶ。 データベースの概念を取得することが主な目的である。						
2. 講義計画							
第 1 週	データベースとは（Excelとの違い）						
第 2 週	テーブル・クエリ・レポートフォーム						
第 3 週	データの整合性 データベースプロジェクト ナビゲーションウインドウ						
第 4 週	テーブルの基礎知識1 テーブルの設計 主キー データ型						
第 5 週	整合性 データのインポート						
第 6 週	データシートビュー 運用に関する注意						
第 7 週	クエリ1 クエリの基本						
第 8 週	クエリ2 条件付きクエリ Like演算子 パラメータクエリ						
第 9 週	クエリ3 アクションクエリ クエリのエクスポート						
第 10 週	リレーションシップ						
第 11 週	レポートとフォーム						
第 12 週	マクロとVBA 1 マクロで基本的な機能を使う						
第 13 週	マクロとVBA 2 マクロで細かい機能を作り込む						
第 14 週	マクロをもっと塚小茄子						
第 15 週	VBAの基本						
第 16 週	VBAならではの使い方						
第 17 週	後期定期試験 1						
第 18 週	後期定期試験 2						
3. 関連科目及び注意点							
情報処理講座・アルゴリズムを並行して授業していること。							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	Accessマクロ&VBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本 2019/2016対応（ツボとコツシリーズ）						
問題集							
6. 注意事項							
パソコンを使っでの実習である。							

科 目		カラーコーディネートⅠ（前期）					
担当教員	恩村比呂子	学年	2	履修期間	前期	単位	2
学科	情報システム科						
		単位時間	68				
1. 概要							
目的	色彩理論を学び、色の活用方法を身につける。色の使われ方に興味を持ち視野を広く持てるようになる。学んだ知識を普段の生活の中で活かし心豊かな毎日を送れるようになる。色彩検定3級合格相当の知識を持つ。						
2. 講義計画							
第 1 週	オリエンテーション / 色のはたらき / 心に作用する色「赤・オレンジ・黄」						
第 2 週	光と色 / 心に作用する色「緑・青」						
第 3 週	光の性質 / 心に作用する色「紫」						
第 4 週	眼のしくみ / 心に作用する色「白・黒」						
第 5 週	照明と色 / 慣用色名						
第 6 週	混色 / 慣用色名						
第 7 週	色の表示と三属性						
第 8 週	PCCS色相						
第 9 週	PCCS明度と彩度 / PCCS トーン						
第 10 週	色の心理効果						
第 11 週	色の視覚効果						
第 12 週	色彩調和「色相配色」						
第 13 週	色彩調和「トーン配色」 / 配色技法						
第 14 週	ファッションの色彩						
第 15 週	インテリアの色彩						
第 16 週	色の三属性とイメージ（コラージュ作成・提出）						
第 17 週	トーンとイメージ（コラージュ作成・提出）						
第 18 週	前期定期試験（イメージボード作成とプレゼンテーション）						
3. 関連科目及び注意点							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（作品提出）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：色彩検定公式テキスト3級 / 新配色カード199a						
問題集	：						
6. 注意事項							
色鉛筆、はさみ、のり、雑誌（2～3冊）を使う場合あり。その都度連絡します。							

科 目		カラーコーディネートⅡ（後期）					
担当教員	恩村比呂子	学年	2	履修期間	前期	単位	2
学科	情報システム科						
		単位時間	68				
1. 概要							
目的	色彩理論を学び、色の活用方法を身につける。色の使われ方に興味を持ち、配色を工夫することでイメージのコントロールが可能になることを演習を通して体感する。学んだ知識を普段の生活の中で活かし心豊かな毎日を送れるようになる。						
2. 講義計画							
第 1 週	色彩検定対策	過去問題					
第 2 週	色彩検定対策	過去問題					
第 3 週	色彩検定対策	過去問題					
第 4 週	色彩検定対策	過去問題					
第 5 週	色彩検定対策	過去問題					
第 6 週	色彩検定対策	過去問題					
第 7 週	企業の色「CIカラー」	（グループワーク・発表）					
第 8 週	商品の色「プロダクトカラー」	（グループワーク・発表）					
第 9 週	パーソナルカラー（1）	色のアンダートーン					
第 10 週	パーソナルカラー（2）	パーソナルカラー診断①					
第 11 週	パーソナルカラー（3）	パーソナルカラー診断②					
第 12 週	イメージコントロール（1）	配色でイメージ作り（コラージュ作成・提出）					
第 13 週	イメージコントロール（2）	色と形でイメージ作り（コラージュ作成・提出）					
第 14 週	イメージコントロール（3）	色と素材でイメージ作り（コラージュ作成・提出）					
第 15 週	イメージコントロール（4）	イメージマップを作る（提出）					
第 16 週	後期末試験準備（イメージボード作成）						
第 17 週	後期末試験準備（イメージボード作成）						
第 18 週	後期末試験（イメージボード発表とプレゼンテーション）						
3. 関連科目及び注意点							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（作品提出）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：色彩検定公式テキスト3級 / 新配色カード199a						
問題集	：						
6. 注意事項							
色鉛筆、はさみ、のり、雑誌（2～3冊）を使う場合あり。その都度連絡します。							

科 目		パソコン応用実習 I (前期)				
担当教員	加藤 雅博	学年	2	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種類	演習	単位時間	34 単位時間			
1. 概要						
目的	① 日常生活や職場でパソコンを効果的に活用する力を身につける ② パソコンを使用時の集中力・作業の正確性の向上を図る ③ ワープロ検定、情報処理技能検定（表計算）への目標を持ち、学習を進める					
2. 講義計画						
	① ワード～名刺の作成 ② ワード～履歴書の作成 ③ ワード～地図の挿入・写真の加工 ④ エクセル～IF関数 ⑤ エクセル～ROUNDUP関数、ROUNDDOWN関数 ⑥ エクセル～RANK関数 ⑦ エクセル～絶対参照 ⑧ エクセル～情報処理技能検定（表計算）3級演習問題 ⑨ パワーポイント～基本操作 ⑩ パワーポイント～スライドのデザイン・レイアウト ⑪ パワーポイント～図形・表・グラフの挿入 ⑫ パワーポイント～動画の挿入・再生 ⑬ パワーポイント～アニメーション・画面切り替えの設定 ⑭ パワーポイント～スライドショーの実行 ※ワープロ検定・情報処理技能検定（表計算）対策（各自の級にそって進める）					
3. 関連科目及び注意点						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次の学習内容の理解度・定着度に応じて復習を行う ・ 各項目の理解度を確認しながら、丁寧に進める 					
4. 成績評価の方法						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平常点・定期試験による評価 					
5. 教科書及び参考書など						
	「プレゼンテーション作成検定試験過去問題」 < https://www.goukaku.ne.jp/test_presen.html > 「ワープロ検定模擬問題集」「情報処理技能検定試験（表計算）模擬問題集」 「文書デザイン検定試験模擬問題集」					
6. 注意事項						

科 目		パソコン応用実習Ⅱ（後期）				
担当教員	加藤 雅博	学年	2	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
種類	演習	単位時間	34 単位時間			
1. 概要						
目的	① 日常生活や職場でパソコンを効果的に活用する力を身につける ② パソコンを使用時の集中力・作業の正確性の向上を図る ③ ワープロ検定、情報処理技能検定（表計算）への目標を持ち、学習を進める					
2. 講義計画						
	① ワード～段組みの設定 ② ワード～差し込み印刷 ③ ワード～エクセルの表・グラフの貼り付け ④ エクセル～VLOOKUP関数 ⑤ エクセル～AND関数・OR関数 ⑥ エクセル～TODAY関数・NOW関数 ⑦ エクセル～グラフ作成（縦棒・横棒・折れ線・円） ⑧ エクセル～情報処理技能検定（表計算）準2級演習問題Ⅰ ⑨ エクセル～情報処理技能検定（表計算）準2級演習問題Ⅱ ⑩ エクセル～情報処理技能検定（表計算）準2級演習問題Ⅲ ⑪ パワーポイント～プレゼンテーション作成検定2級演習問題Ⅰ ⑫ パワーポイント～プレゼンテーション作成検定2級演習問題Ⅱ ⑬ パワーポイント～プレゼンテーション作成検定2級演習問題Ⅲ ⑭ 総復習Ⅰ（ワード） ⑮ 総復習Ⅱ（エクセル） ⑯ 総復習Ⅲ（パワーポイント） ※ワープロ検定・情報処理技能検定（表計算）対策（各自の級にそって進める）					
3. 関連科目及び注意点						
	・ 1年次の学習内容の理解度・定着度に応じて復習を行う ・ 各項目の理解度を確認しながら、丁寧に進める					
4. 成績評価の方法						
	・ 平常点・定期試験による評価					
5. 教科書及び参考書など						
	「プレゼンテーション作成検定試験過去問題」 < https://www.goukaku.ne.jp/test_presen.html > 「ワープロ検定模擬問題集」「情報処理技能検定試験（表計算）模擬問題集」 「文書デザイン検定試験模擬問題集」					
6. 注意事項						

科 目		国家試験対策Ⅰ（前期）				
担当教員	横田 潤一	学年	2	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種類	演習	単位時間	68 単位時間			
1. 概要	目的	①	国家試験である乙種第4種危険物取扱責任者の取得を目指し、学習する。			
2. 講義計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 危険物の性質と消火 ② 危険物の性質と消火 問題演習 ③ 基礎物理・科学 ④ 基礎物理・科学 問題演習 ⑤ 危険物の関連法令Ⅰ 資格と制度 ⑥ 危険物の関連法令Ⅰ 資格と制度 ⑦ 危険物の関連法令Ⅰ 資格と制度 問題演習 ⑧ 危険物の関連法令Ⅱ 技術基準 ⑨ 危険物の関連法令Ⅱ 技術基準 ⑩ 危険物の関連法令Ⅱ 技術基準 ⑪ 危険物の関連法令Ⅱ 技術基準 問題演習 ⑫ 危険物の性質と消火・基礎物理・科学 問題演習 ⑬ 危険物の関連法令 問題演習 ⑭ 模擬テスト ⑮ 模擬テスト ⑯ 模擬テスト 					
3. 関連科目及び注意点	乙種第4種危険物取扱責任者の国家試験受験を前提とする。					
4. 成績評価の方法	・平常点・定期試験による評価					
5. 教科書及び参考書など	乙種4類試験例題集					
6. 注意事項						

科 目		国家試験対策Ⅱ（後期）				
担当教員	横田 潤一	学年	2	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
種類	演習	単位時間	68 単位時間			
1. 概要						
目的	①	危険物取扱者試験の取得、および消防設備士6類の取得を目指して学習する。				
2. 講義計画						
	①	機械に関する基礎知識	力について			
	②	機械に関する基礎知識	材料について			
	③	機械に関する基礎知識	演習問題			
	④	消防関係法令	各類に共通する部分			
	⑤	消防関係法令	各類に共通する部分			
	⑥	消防関係法令	各類に共通する部分			
	⑦	消防関係法令	第6類に関する部分			
	⑧	消防関係法令	第6類に関する部分			
	⑨	消防関係法令	第6類に関する部分			
	⑩	消防関係法令	第6類に関する部分	演習問題		
	⑪	消火器の構造と機能				
	⑫	消火器の規格				
	⑬	消火器の点検と整備				
	⑭	実技試験				
	⑮	模擬テスト				
	⑯	模擬テスト				
3. 関連科目及び注意点						
国家試験対策Ⅰの取得状況により、危険物取扱の勉強を継続する場合がある。						
4. 成績評価の方法						
・平常点・定期試験による評価						
5. 教科書及び参考書など						
6. 注意事項						

科 目	コミュニケーションⅢ（前期）						
担当教員	高橋 敦司	学年	2	履修期間	前期	単位	
学科	情報システム科	コース					
1. 概要							
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分や相手の考えや思いを、知ること ・ 自分の考えや思いを、表現できること ・ 自分の考えや思いを、相手に伝えることができること 						
2. 講義計画							
第 1 週	話の聞き方にもいろいろある						
第 2 週	人の話を上手に聞くには						
第 3 週	落ち込んでいる友だちの話を聞くには						
第 4 週	悩んでいる友だちの話を聞くには						
第 5 週	泣いている友だちの話を聞くには						
第 6 週	イライラしている友だちの話を聞くには						
第 7 週	いじめにあっている友だちの話を聞くには						
第 8 週	友だちを元気づけてあげるには						
第 9 週	話し方にもいろいろある						
第 10 週	上手にあいさつをするには						
第 11 週	「ありがとう」を上手にいうには						
第 12 週	「ごめんなさい」を上手にいうには						
第 13 週	初対面の人ときちんと話すには						
第 14 週	目上の人ときちんと話すには						
第 15 週	自分の考えを上手に伝えるには						
第 16 週	仲間に入りたいたときには						
3. 関連科目及び注意点							
4. 成績評価の方法							
試験（実技試験）と平常点で評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	: なし						
参考書	: コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング						
6. 注意事項							

科 目	コミュニケーションⅣ（後期）						
担当教員	高橋 敦司	学年	2	履修期間	後期	単位	
学科	情報システム科	コース					
1. 概要							
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分や相手の考えや思いを、知ること ・ 自分の考えや思いを、表現できること ・ 自分の考えや思いを、相手に伝えることができること 						
2. 講義計画							
第 1 週	友だちの本が借りたいときには						
第 2 週	大事なものを貸してと頼まれたら						
第 3 週	悪い誘いを断るには						
第 4 週	友だちに嫌なことを言われたら						
第 5 週	「悪口を言われているよ」と教えられたら						
第 6 週	友だちが約束をやぶったら						
第 7 週	友だちと意見がぶつかったら						
第 8 週	ケンカをした友だちと仲直りをするには						
第 9 週	友だちに乱暴されたら						
第 10 週	自分のもめごとを解決するには						
第 11 週	クラスのもめごとを解決するには						
第 12 週	友だちのケンカをとめるには						
第 13 週	友だちに注意するには						
第 14 週	友だちが突然暴れだしたら						
第 15 週	人の話を上手に聞こう・自分の気持ちを上手に伝えよう						
第 16 週	自分で考えよう・みんなで考えよう						
3. 関連科目及び注意点							
4. 成績評価の方法							
	試験（実技試験）と平常点で評価						
5. 教科書及び参考書など							
教科書	： なし						
参考書	： コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング						
6. 注意事項							